

1 プログラムの名称

久留米大学病院群外科専門研修プログラム

2 研修期間

3年間

※サブスペシャルティ領域と並行可能

3 募集要項

募集人員： 22名

募集期間： 1次 > 久留米大学病院
2次 > 外科専門研修プログラムに準ずる。

応募資格： 医師免許を有している者
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： プログラム応募申請書(1部)

履歴書(2部)

※まずは担当者へお問合せください。

4 診療部長・指導医数

診療部長：奥田 康司

指導医数 130名(久留米大学病院群全体の指導医数)

5 主な連携施設

(福岡県) 聖マリア病院、九州医療センター、大牟田市立病院、朝倉医師会病院、筑後市立病院、飯塚市立病院、共愛会戸畑共立病院、済生会二日市病院、宗像水光会総合病院、ヨコクラ病院、柳病院、嶋田病院、柳川病院、済生会大牟田病院、公立八女総合病院、社会保険田川病院、久留米総合病院、くるめ病院、高木病院、福岡記念病院

(佐賀県) 佐賀中部病院

(長崎県) 佐世保共済病院、市立大村市民病院、

(大分県) 済生会日田病院、三愛メディカルセンター

(鹿児島) 天陽会中央病院

(新潟県) 新潟県立中央病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院

(山形県) 鶴岡市内荘内病院

6 プログラムの特色

当施設での肝胆膵疾患手術例数は年間300例を超え、その多くが悪性疾患で国内でも有数の手術例数です。当部門は内科、病理との連携が深く、定期的カンファランスを通じて疾患の総合的な病状把握、治療方針を理解できます。肝胆膵疾患における画像診断は非常に重要ですが、超音波検査、PTCD、ERCP、CT/MRIの3次元画像構築など高い技術で外科医自身が施行し、専門性を持った高度の診断能力を身に着けることができます。手術は肝移植で全例在院死亡なく、肝切除も在院死亡0.1%とその鎌度が高いことを自負していますが、積極的に若い先生に執刀をしていただき、「これが外科医だ」ということを実感していただきます。一方で、内視鏡下手術も積極的に行っており、鏡視下肝切除は130例を超え、さらに2016年4月より改定された腹腔鏡下肝切除の施設基準も満たし、腹腔鏡下の肝区域切除、葉切除も経験できます。将来の肝胆膵外科におけるロボット手術を視野に入れた新たな技術の進歩を学べます。

7 診療部長から一言

肝胆膵疾患の手術は画像診断能力、手術技量により患者の成績が大きく異なり、さらに複数の診療科が専門性を持って横断的な診断、治療を行います。外科医個人としての技量のみならずチーム医療としての達成感を味わうことが出来る分野です。国外留学や年に複数回の国外大学とのジョイントミーティングなども行っており、医師としての幅広い見識を身につけることが出来ます。イノベーションはいつも若者の感性、知的好奇心から生まれます。是非肝胆膵外科で敏腕を奮って下さい。

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部外科学講座

<http://www.kurume-geka.com/>

〒830-0011 久留米市旭町67

TEL:0942-31-7566 FAX:0942-34-0709

担当者：医局長 酒井 久宗

9 研修プログラムのURL

日本外科学会

<https://www.jssoc.or.jp/>

